

土砂災害 ハザードマップ

災害対応ガイドマップ



目次

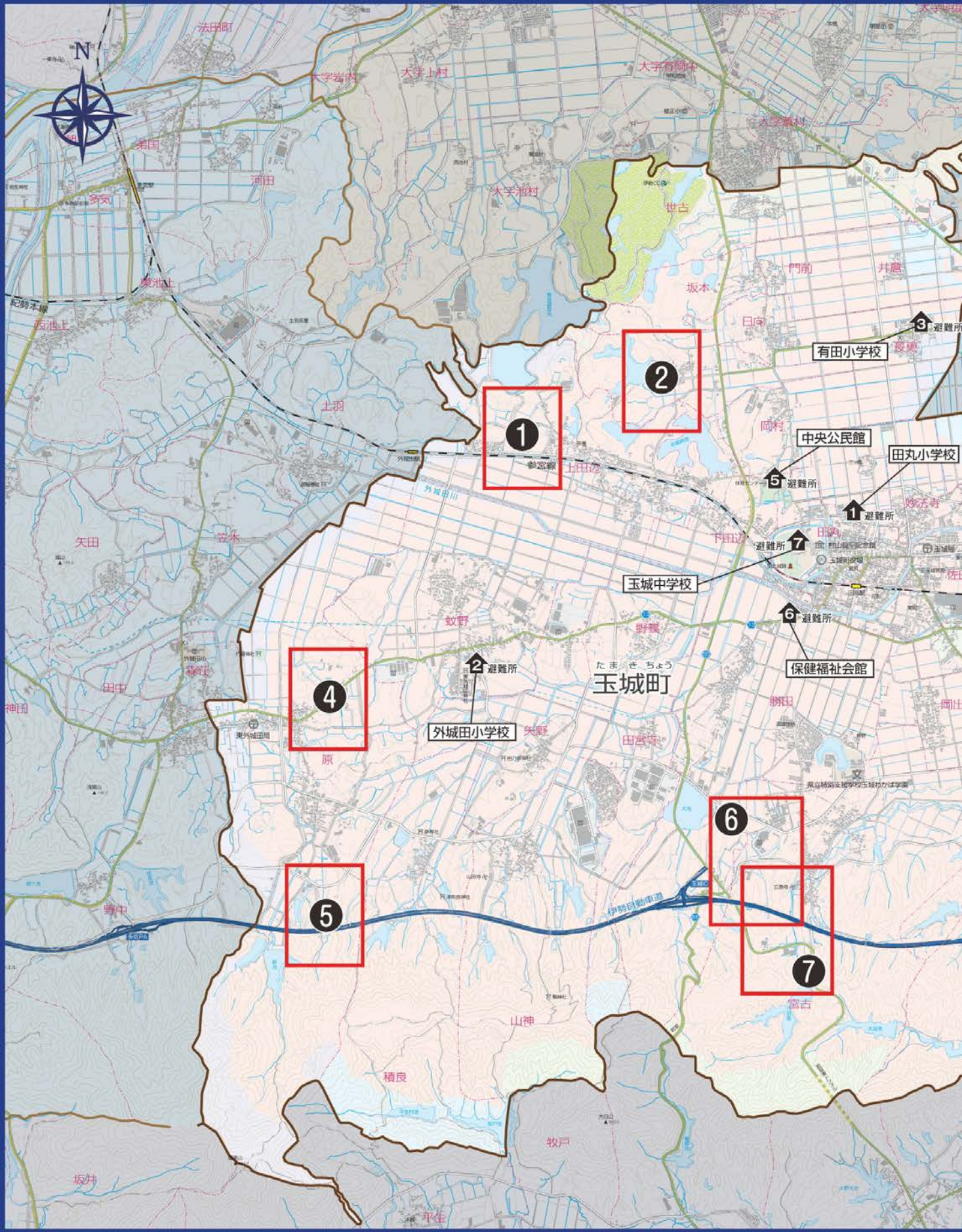
玉城町全体地図	1-2
田丸地区 上田辺	3
有田地区 玉川	4
有田地区 井倉	5
外城田地区 原1	6
外城田地区 原2	7
下外城田地区 宮古1	8
下外城田地区 宮古2	9
下外城田地区 中角	10
下外城田地区 岩出	11
土砂災害	12
避難の心得	13
タイムラインで備えよう	14


大切なこと
“備え・助け・命をまもる”

日頃からもしもの時に備えましょう

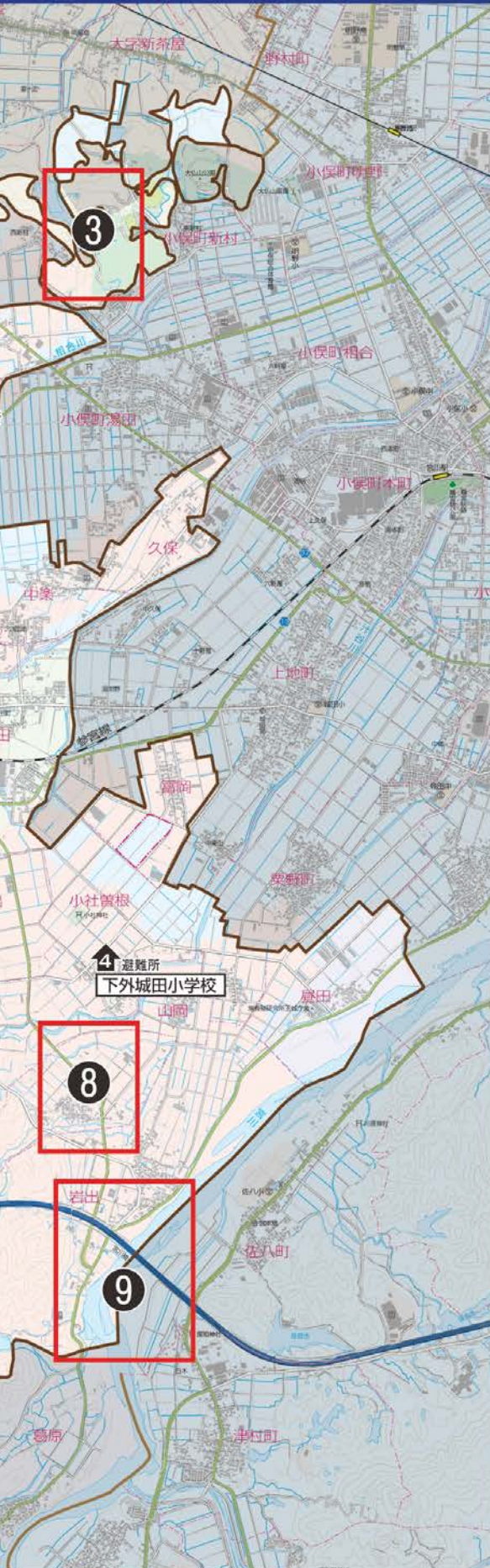
令和3年3月 作成

玉城町土砂災害警戒区域マップ



凡例

- 🏥 病院
- 🎓 学校
- 🚒 消防
- 🏯 寺院
- 🏮 神社
- 🗺 玉城町役場
- 📮 郵便局
- ✕ 交番
- 🩸 記念館



- ① 田丸地区 上田辺 3
- ② 有田地区 玉川 4
- ③ 有田地区 井倉 5
- ④ 外城田地区 原1 6
- ⑤ 外城田地区 原2 7
- ⑥ 下外城田地区 宮古1 8
- ⑦ 下外城田地区 宮古2 9
- ⑧ 下外城田地区 中角 10
- ⑨ 下外城田地区 岩出 11

指定避難所

地図	施設名	住所	電話番号	備考
↑	田丸小学校	玉城町佐田 1247	0596-58-3046	
↗	外城田小学校	玉城町蚊野 2018	0596-58-2606	
↘	有田小学校	玉城町長更 376	0596-58-2321	
↖	下外城田小学校	玉城町小社曾根 776	0596-58-3333	
↕	中央公民館	玉城町下田辺 800	0596-58-6331	
↙	保健福祉会館	玉城町勝田 4876	0596-58-8000	自主避難に対応
↑	玉城中学校	玉城町田丸 114-1	0596-58-3057	

災害時の声の伝言板

171

NTT災害用伝言ダイヤル

災害時には電話が混雑し、家族と連絡がとれないことが多くあります。そんな時には「171」をダイヤルして、利用案内に従って伝言の録音・再生をおこなってください。利用の開始や録音件数（最大10件）など、利用条件についてはNTTが決定し、テレビ・ラジオなどを通じてお知らせします。

伝言の録音方法

171→1→0596→XX-XXXX

ガイダンスが
ながれます

市外局番が
必要です

自宅の電話番号

伝言の再生方法

171→2→0596→XX-XXXX

ガイダンスが
ながれます

市外局番が
必要です

自宅の電話番号

※災害用伝言ダイヤルは、一般電話の他に公衆電話、携帯電話、PHSからも利用できます。

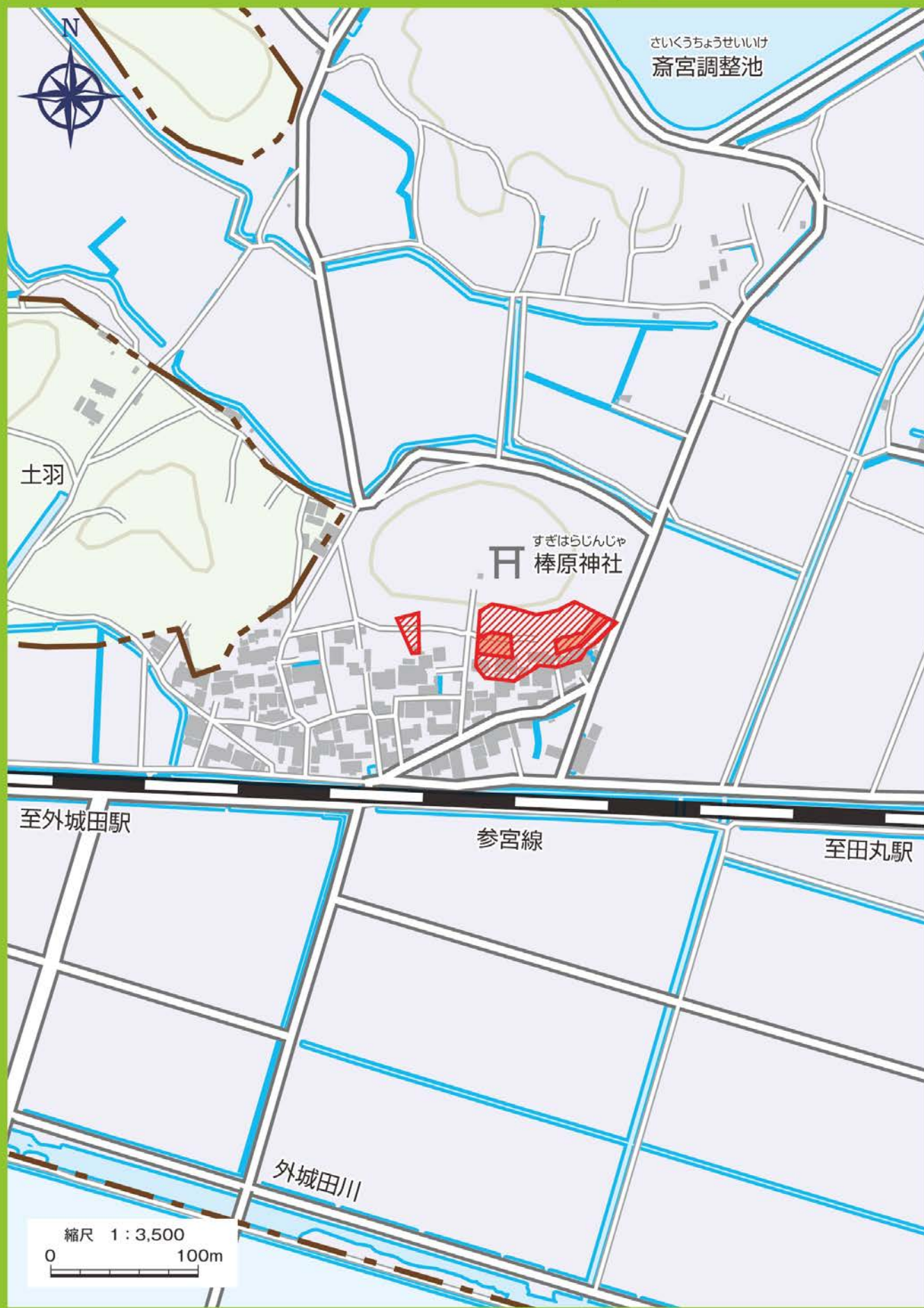
1

田丸地区 上田辺

凡例

土砂災害特別警戒区域

土砂災害警戒区域

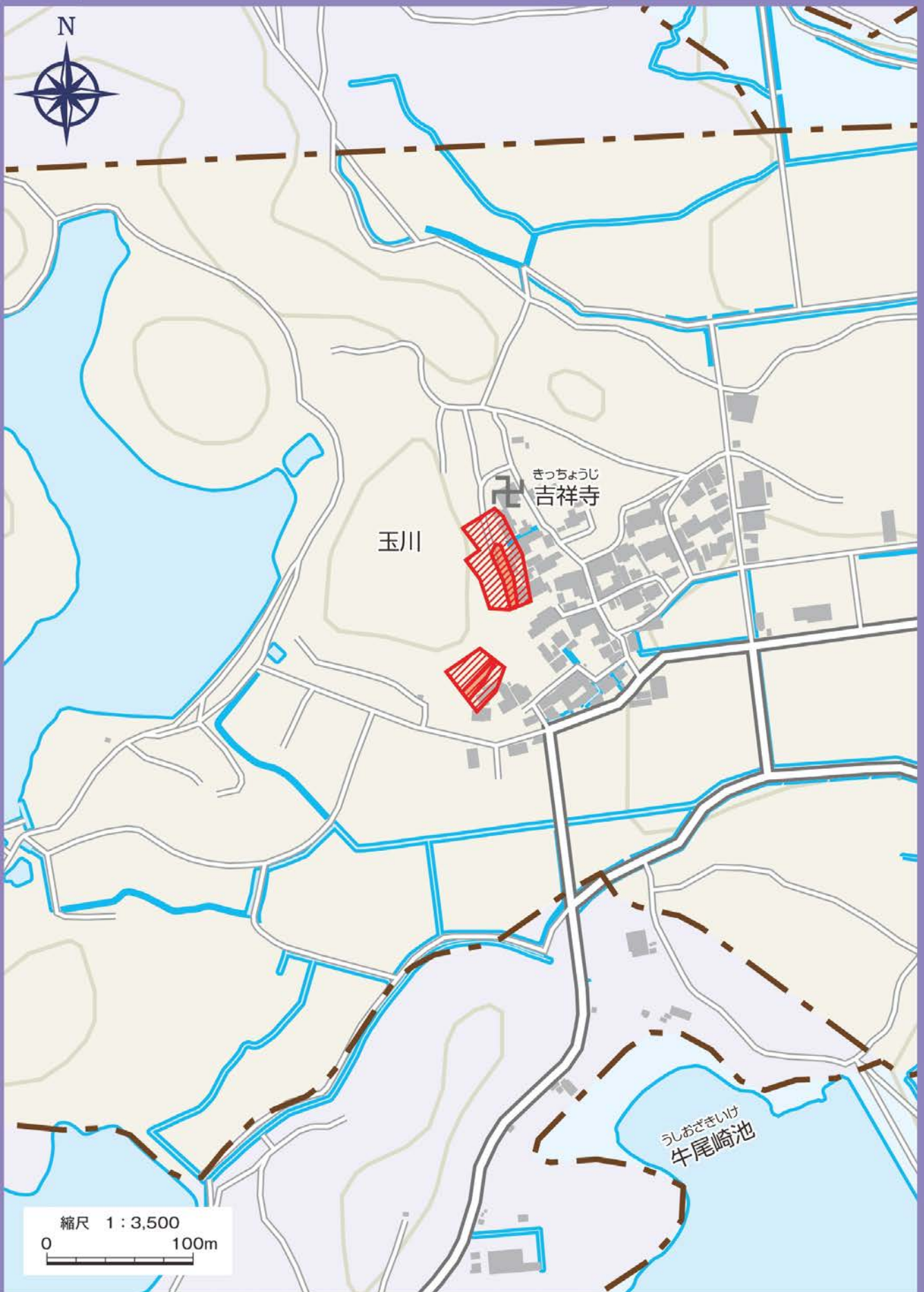


2

有田地区 玉川

凡例

- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域



3

有田地区 井倉

凡例

- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域

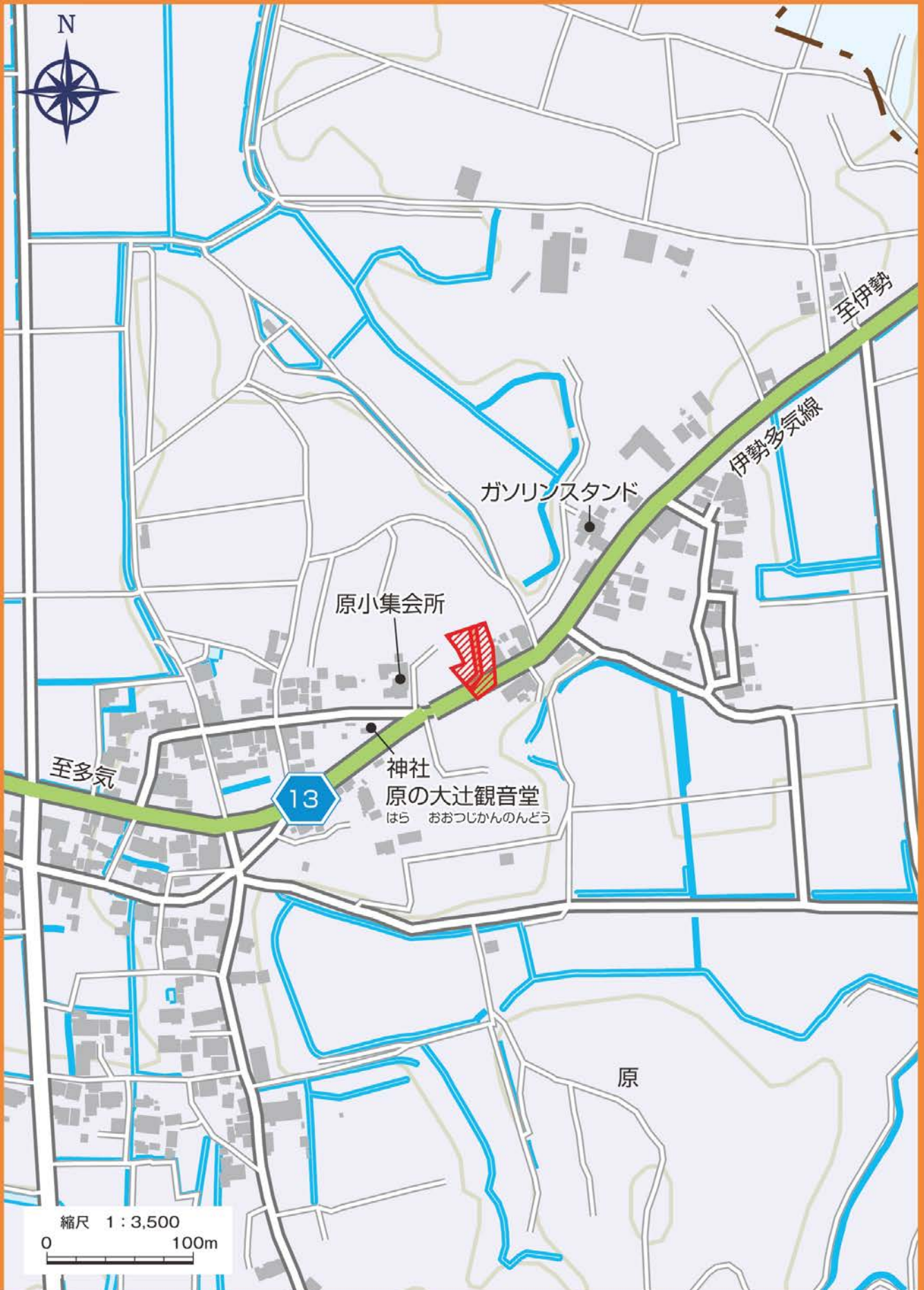


4

外城田地区 原 1

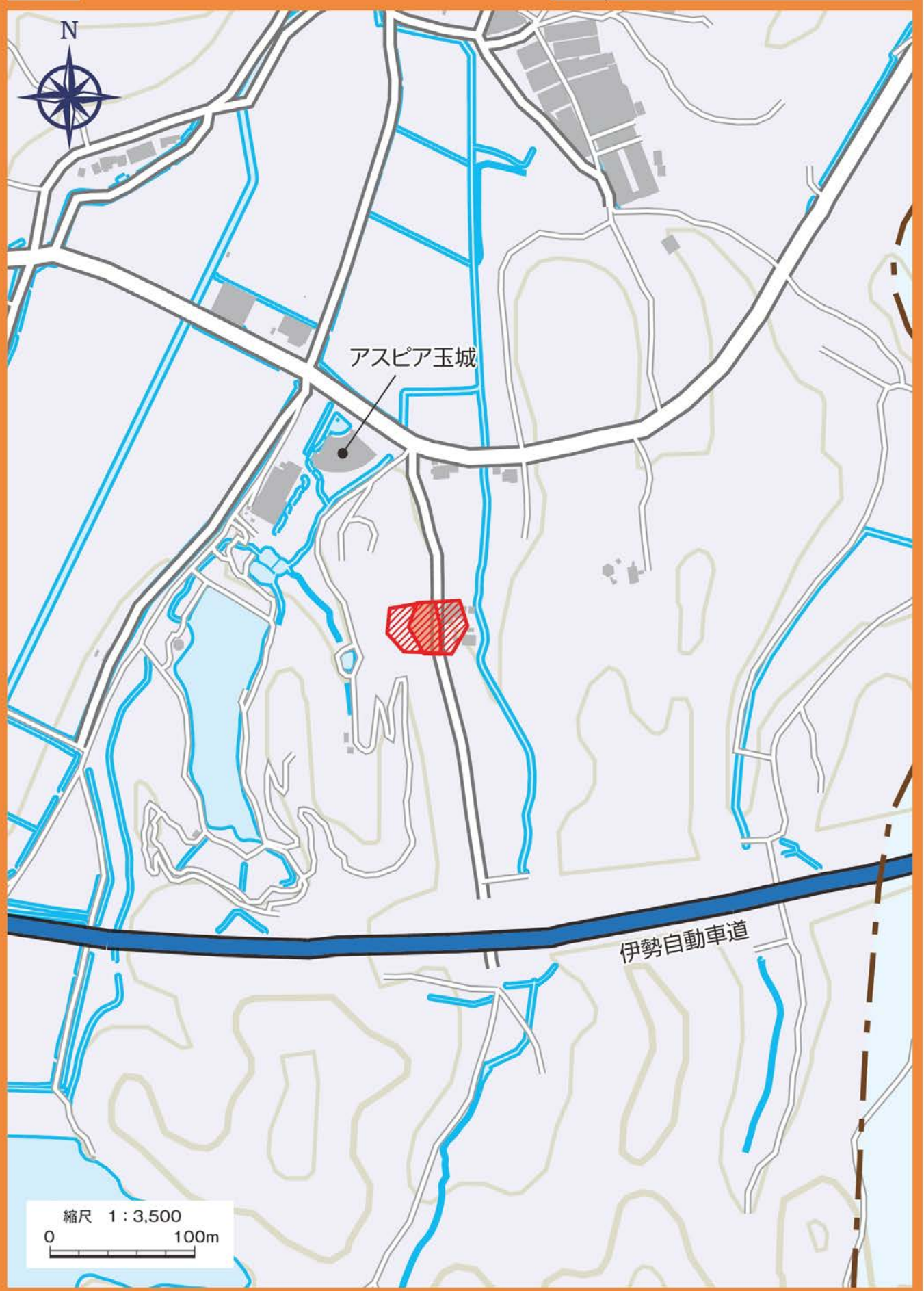
凡例

- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域



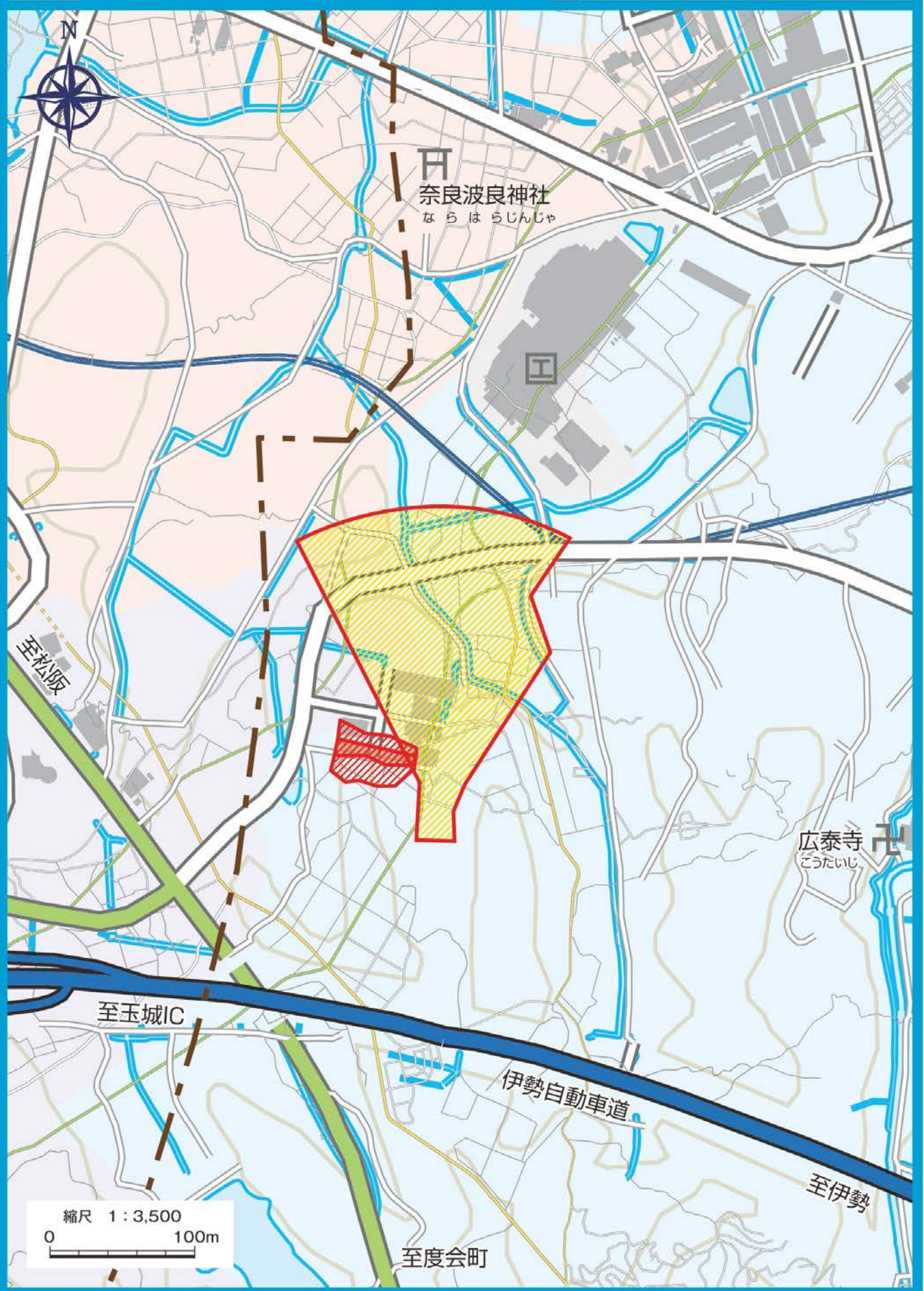
5 外城田地区 原2

- 凡例
- 土砂災害特別警戒区域
 - 土砂災害警戒区域



6 下外城田地区 宮古1

凡例	土砂災害特別警戒区域	土石流特別警戒区域
	土砂災害警戒区域	土石流警戒区域

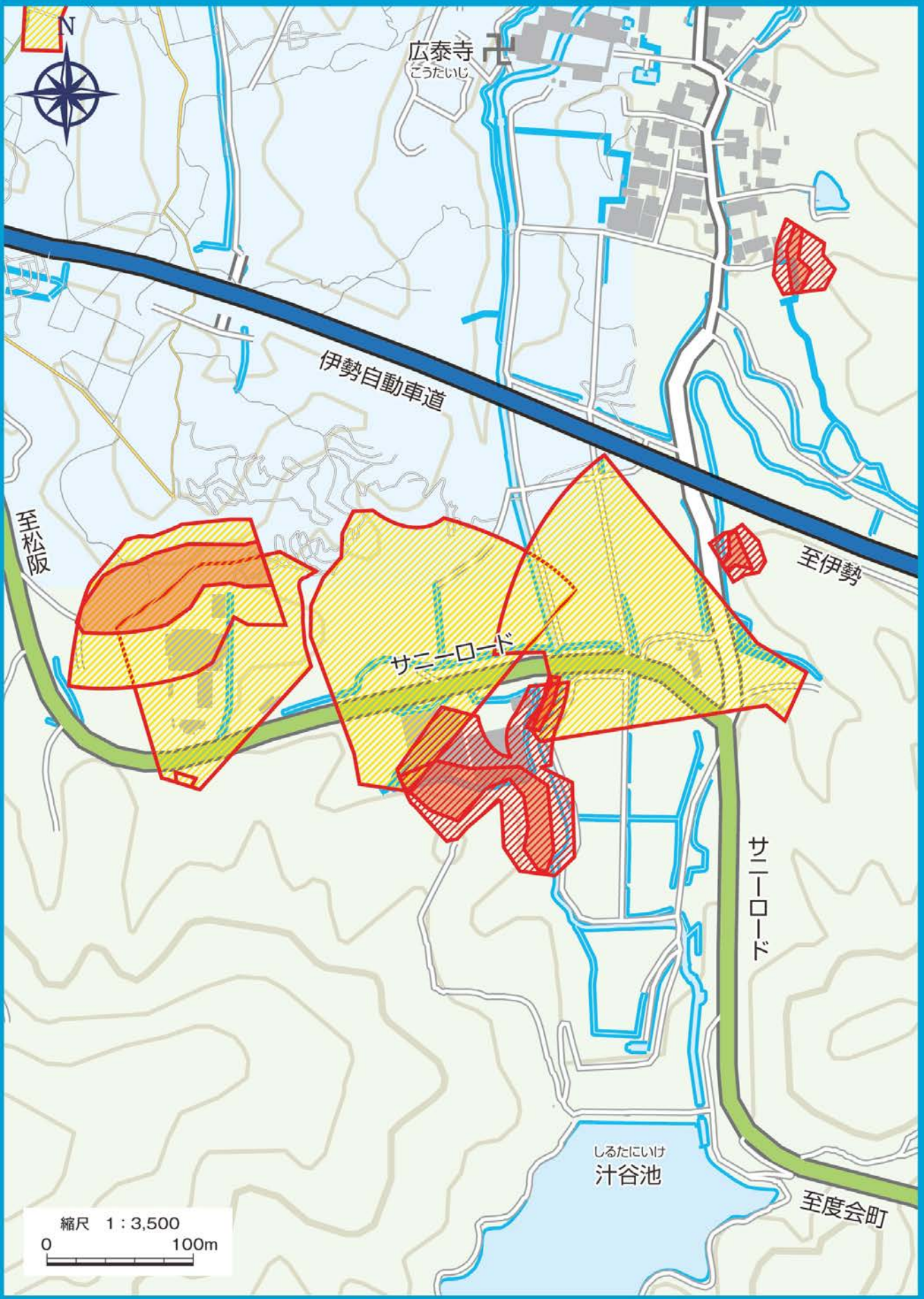


7

下外城田地区 宮古2

凡例

- | | | | |
|--|------------|---|-----------|
|  | 土砂災害特別警戒区域 |  | 土石流特別警戒区域 |
|  | 土砂災害警戒区域 |  | 土石流警戒区域 |

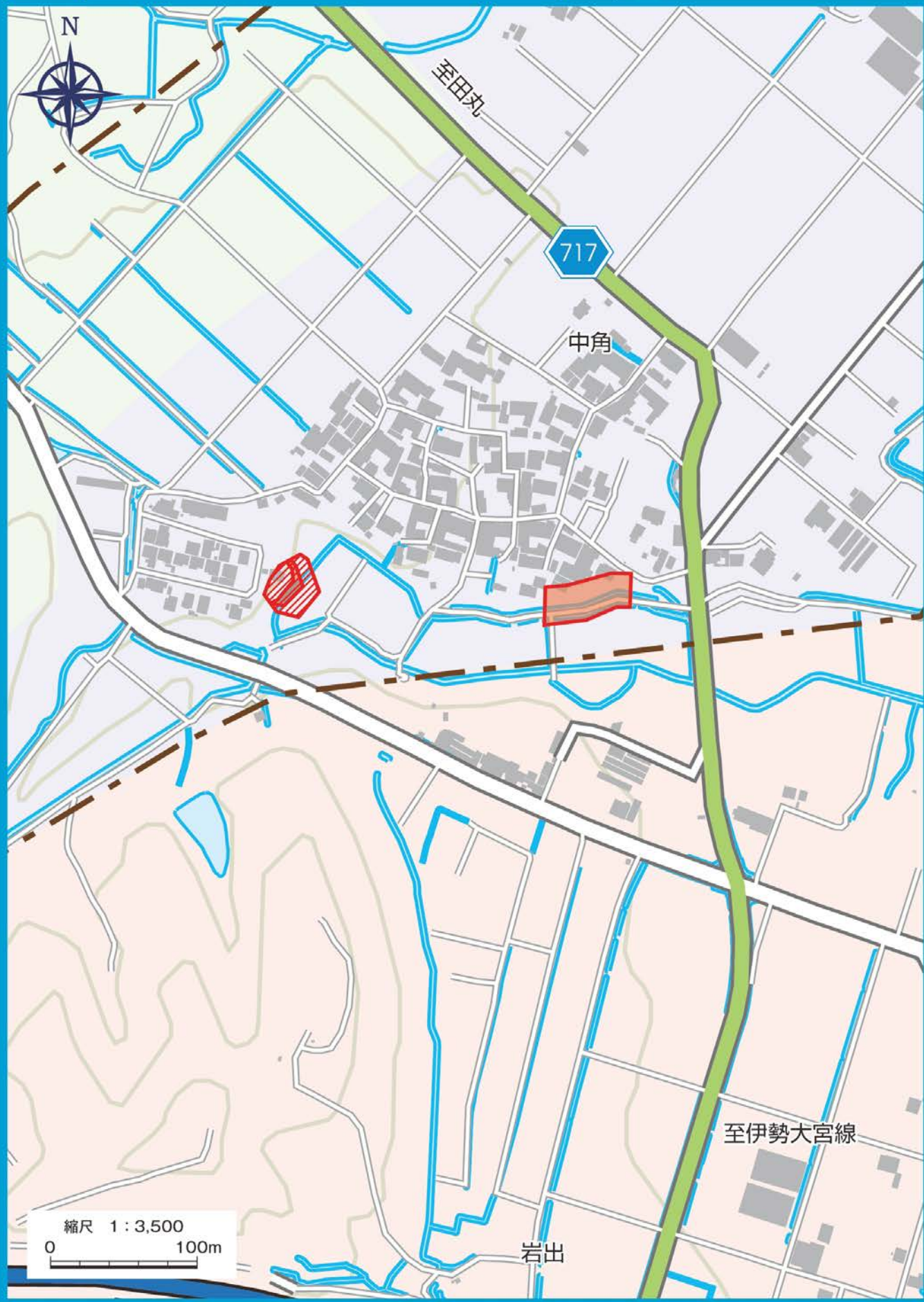


8

下外城田地区 中角

凡例

- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域



縮尺 1 : 3,500

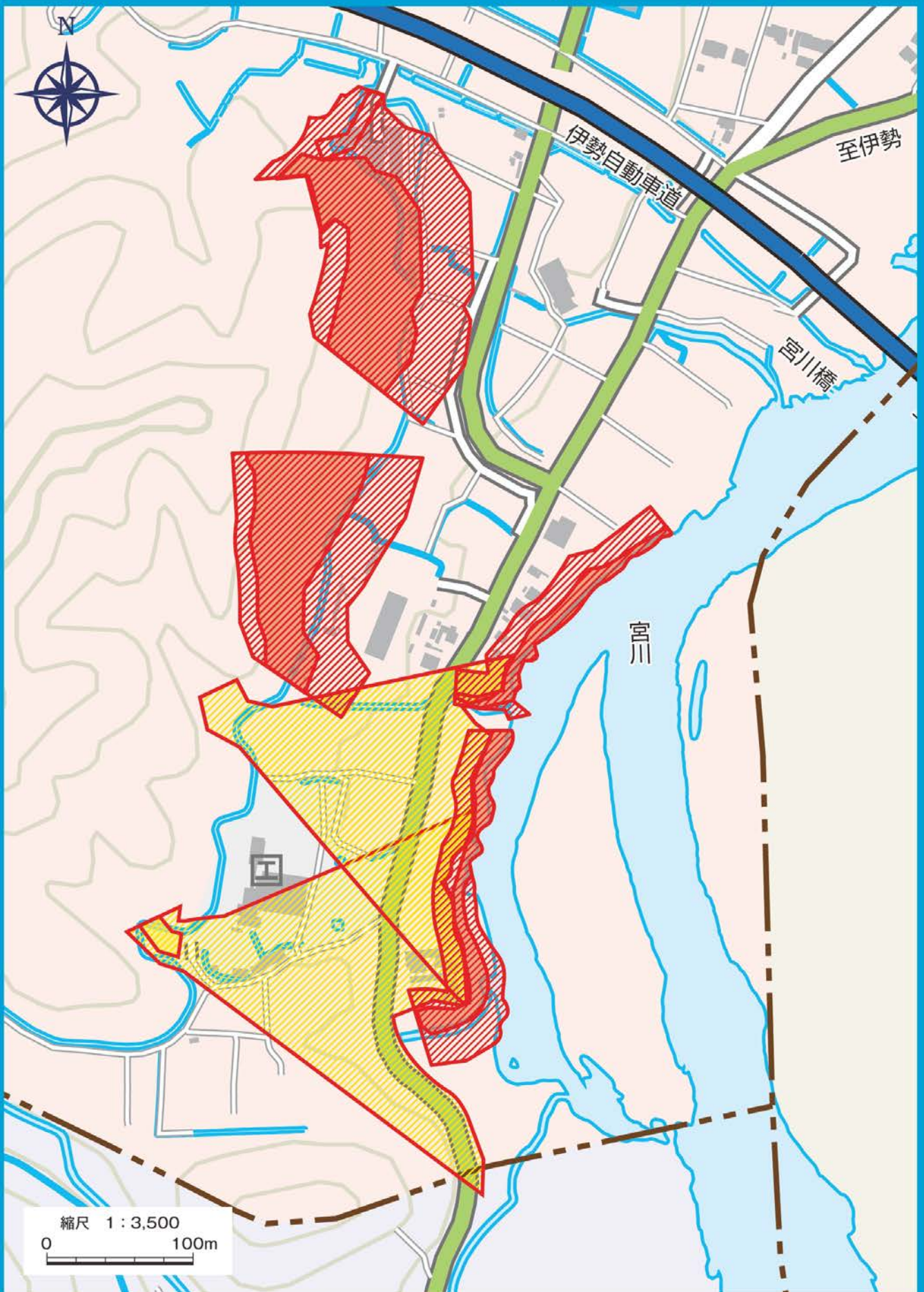
0 100m

9

下外城田地区 岩出

凡例

- | | | | |
|--|------------|---|-----------|
|  | 土砂災害特別警戒区域 |  | 土石流特別警戒区域 |
|  | 土砂災害警戒区域 |  | 土石流警戒区域 |



土砂災害

土砂災害が起こる前には前兆があります。
しっかりと、見逃さないようにしましょう。

土砂災害発生の種類

急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)



地面にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、弱くなった斜面が突然崩れ落ちるのががけ崩れです。

地すべり



比較的緩やかな斜面において、地中の粘土層などの滑りやすい面が地下水などの影響で、ゆっくり動き出す現象です。

土石流



谷や斜面にたまった土や石、砂などが大雨による水と一緒に一気に流れ出して起こります。

資料提供：NPO法人土砂災害防止広報センター

安全に避難するために



自宅の危険をハザードマップで確認しておく

資料提供：気象庁「大雨や台風に備えて」、NPO法人土砂災害防止広報センター



土石流の流れに対して直角に逃げる



避難が困難な場合は2階以上、崖や沢筋から離れた部屋へ緊急避難

ため池の決壊



藤沼貯水池の決壊による被害

ため池(貯水池・ダム)の決壊は“内陸の津波”

大地震ではより大きい被害が報道されがちです。しかし、東日本大震災の福島県須賀川市藤沼貯水池決壊では死者を出す甚大な被害を出し、阪神・淡路大震災でも決壊こそないものの多くのため池に被害の発生がみうけられました。ため池の決壊は避難できる時間的余地が全くなく、強震後すぐに土石流が家屋を飲み込んでいく恐ろしい“内陸の津波”です。

写真提供：東北大学工学部土木工学専攻 水環境システム学研究室「藤沼ダム決壊調査」

避難の心得

避難時に必要となる様々な心得を知っておきましょう！

危険が迫ったときは、広報車や防災行政無線などからの避難の呼びかけに注意しましょう。



動きやすい服装で、軍手をはめ、ヘルメットをかぶり、長靴より紐で締められる運動靴かトレッキングシューズをはきましょう。レインコートは上下が分かれているタイプがよいでしょう。



戸締り

元栓

ブレーカー



避難する時は電気のブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉め、床下の通気口などをふさぎ、戸締りを確認しましょう。

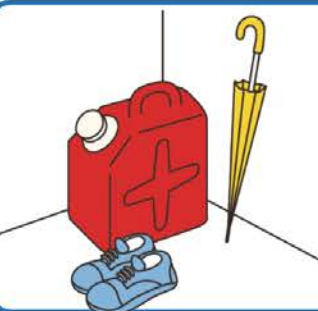


車での避難は、歩行者・緊急車両の妨げとなります。また浸水すると動かなくなるので使わないで下さい。

地下空間へは水が勢いよく流れ込み、水圧でドアが開かなくなる場合もあるため、できるだけ早く地上へ避難しましょう。



洪水の場合、歩ける深さは男性で約70cm、女性で約50cmまで。それ以上になったら建物の2階以上、または屋根の上で救助を待ちましょう。



ポリタンクなど軽いものを屋外に置いておくと、浸水によって流れていってしまうので、事前に屋内に移しておきましょう。

浸水した場所を歩く時は、長い棒を杖がわりにして、マンホールや側溝がないか水面下の安全を確認しながら歩きましょう。



扉の下の隙間から水が入ってくるので、「水のう」や「土のう」、板などで全面を囲み、タオルなどで隙間をふさぐとよいでしょう。



切れた電線のそばなど、危険な場所に近寄らないで下さい。また、はん濫水には汚水が混ざっているので、子どもなどがさわらないように気をつけましょう。

タイムラインで備えよう

● タイムラインとは？

「タイムライン」とは、「時刻表」・「時間割」という意味で、防災においては、「いつ」・「何を」・「誰が」**行うのかを整理した計画**のことを指します。

災害(風水害)が起きそうなとき、あなたはいつ、何をしますか？
みなさんがそれぞれの環境に合ったタイムラインを自ら作成することで**避難するタイミングがわかり、災害前にできる防災行動の見落としを防げます。**

ぜひ、タイムラインの作成をお勧めします。

● わが家のタイムラインを作しましょう

	＜やることリスト＞ (自分がやることにチェック✓してください)	＜その他＞ (他にすべきことがあれば、書き出してみましょう)
◀ 台風が発生 ◀ 台風上陸の 可能性	・ 平時の生活	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 気象情報の収集	<input type="checkbox"/>
◀ 台風接近	<input type="checkbox"/> 自宅周辺の排水路の点検・清掃	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 自宅の屋内外の点検・補強(屋根、雨戸、雨どいなど)	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 備蓄物品、非常持出し品の点検	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 指定避難所と避難経路の確認	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 浸水ハザードマップの確認(土砂災害)	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 浸水対策(土のうの準備など)	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 河川の水位をインターネット等で確認	<input type="checkbox"/>
◀ 台風上陸	<input type="checkbox"/> 自主避難の必要のある人は避難開始	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 気象情報の確認	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 不要不急の外出は控える	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> ライフライン途絶に備える(水を溜める)	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 避難の準備	<input type="checkbox"/>
◀ 台風通過後	<input type="checkbox"/> 避難行動要支援者等は避難開始	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 指定避難所へ避難開始(近隣と)	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 避難所運営に協力	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 気象情報の収集(河川水位も含む)	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 未避難者は避難(垂直避難も可)	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 自宅の被害調査	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 被災処理(助け合い)	<input type="checkbox"/>

非常持ち出し袋・備蓄品リスト

災害の時、あなたの身を守るものです。常に手の届くところにおきましょう。

手元に置くもの



- 懐中電灯 (予備電池を含む)
停電したら真っ暗で何も見えません。



- 笛またはブザー
家屋の下敷きになって動けない時、人に知らせます。



- 厚手の靴下またはスリッパ
ガラスや食器の破片の上を、素足で歩いて逃げると怪我をします。

リュックサックにまとめ、いつでも持ち出せるところにおきましょう。

貴重品

- 現金 (公衆電話用の小銭も含む)
- 車や家の予備鍵
- 銀行の口座番号・生命保険契約番号など
- 健康保険証
- 身分証明書 (運転免許証・パスポートなど)
- 母子健康手帳
- お薬手帳
- 印鑑

便利品

- 防災ずきんまたはヘルメット
- 大きめのポリ袋数枚
- アルミ製保温シート
- 毛布
- ミニカイロ
- 軍手または皮手袋
- マッチまたはライター
- レインコート
- 簡易トイレ
- 万能ナイフ

情報収集用品

- 携帯電話 (充電器を含む)
- 携帯ラジオ
- 家族の写真 (はぐれた時の確認用)
- 緊急時の家族・親戚・知人の連絡先
- 広域避難地図 (ポケット地図でも可)
- 筆記用具 (油性ペン)

食料など

- 非常食 (チョコレート・ビスケットなど)
- 飲料水

衛生健康

- 救急セット
- 常備薬・持病薬
- 着替・下着・靴下
- 大き目の木綿ハンカチ (包帯になります)
- ティッシュ・ウェットティッシュ

他、必要なもの

- 紙おむつ (乳児用・高齢者用など)
- 生理用品
- 粉ミルク・哺乳瓶
- 予備の眼鏡、コンタクトレンズ、入歯など

感染症対策

- マスク
- アルコール消毒液
- 室内ばき
- 体温計

※上記以外にも必要なものがあれば備えておきましょう。

1人分3日間の水・食料の備蓄の目安・・・できれば7日間用意しましょう。

水・食料備蓄品

- 飲料水 9L (3L×3日分)
- アルファ米・レトルトおかゆ 4~5食分
- 板チョコ・羊羹 2~3枚 (個)
- 乾パン 1~2缶
- ビスケット 1~2箱
- 缶詰 2~3缶



緊急連絡先・防災メモ

避難所

住所

連絡先
